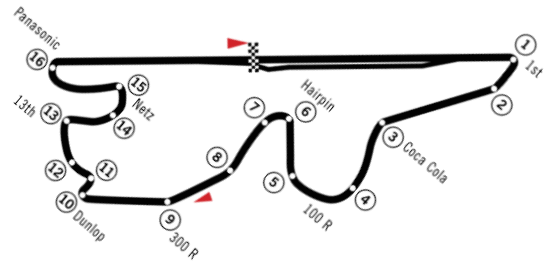


OTG主催 FIAF4 スプリングトレーニング

- 開催日: 4月2日
- 開催場所: 富士スピードウェイ
- 天候: 晴れ
- 路面: ドライ
- 参加台数: 31台



Team Principal: Masashi Kawaguchi
 Secretariat : PECORA INC.
 Driver : Iori Kimura
 Mechanic : Kazuya Tachi / Shouma Tachi

【スケジュール】 [SCHEDULE]

- 午前・・・ ドライバー講習会
 - ・競技規則
 - ・ドライビングマナー
 - ・Safety Car 運用
 - ・アンチドーピング

- 午後・・・ FIAF4 占有走行
 - スタート練習・SC訓練

■ ドライバー講習会

初参加となりましたドライバー講習会、
まずはFIAF4の競技規則の説明についてご説明を頂きました。

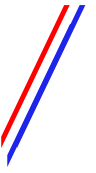
フラッグの意味など基本的な部分から、SC運用の際の注意事項、
4脱や危険行為などのペナルティ判断を下した際の実例などを動画とスライドを用いて
配布された資料を見ながら適宜メモを取りました。

特にSC運用のところは自分が経験したことのない部分であり、レース展開が大きく左右される
瞬間でありますので慎重にメモを取りました。

その後のアンチドーピングの講習会では、
なぜドーピング検査を行い、違法薬物を検知する必要があるのかという説明から始まり
風邪薬やサプリメントなど身の回りにあるごく身近な商品でもドーピングに引っ掛かってしまう
危険性があるということを伺いました。
自身の日常生活にドーピングの危険があるということに驚き、
普段自分の身体に取り入れているものの管理を
今まで以上に怠ってはいけないんだと実感致しました。

モータースポーツ界は車というモノを扱うスポーツであり、
他の種目と比べてもドーピングによる効果が結果を大きく変えてしまうという可能性は低く
業界内でのドーピングに対する意識がまだまだ低いのが現状です。

今の時点では抜き打ち検査などがなければいけません今後増える可能性もありますし、
自分自身の身体を守る為にも注意して生活して行こうと考えました。



■ FIAF4 占有走行



昨年からオーバーホールした車のシェイクダウンを行う為、はじめは中古タイヤにて走行を行いマシンのチェックを行いました。

その後は中古タイヤの状態も決していい物ではなかったこともありニュータイヤに履き換え、他のチームと比べると少し早いタイミングではありましたがアタックすることになりました。

その時点でのタイムは4番手で中々の手応えを感じましたが、セクター3でトップと比較して大幅に遅れていることがわかりました。その後は少しずつ細かいところのセッティングを変更し自分の走りも進歩させていくようにアジャストしました。

その後の順位では後続の車両が続々とタイヤをニューに変更。
そして長いストレートがある富士スピードウェイならではのことですが
風向きが向かい風から追い風になりそれまで出ていたものよりも10キロ近く
ストレートスピードが変わってしまい、結果的には14番手で占有走行を終えることになりました。

その後のSC訓練とスタート練習を兼ねた模擬レースでは
SC後のスタートを上手く決め順位を2つ上げてフィニッシュ。
レース中のラップタイムでは5番手につけることが出来ました。

しかし、まだまだ追い越せるほどの戦闘力が車、ドライバー含め足りないところが多々ありますので
次の走行までに色々なことを試して参りたいと思います。

これからも応援よろしくお願いします。

木村偉織

【リザルト】 [RESULT]

OTGプレゼンツ・スプリングトレーニング

FIA-F4 OTGトレーニング 1回目

2019 / 4 / 2 15:33



結果表

Weather : Fine

Track : Dry

Fuji Speedway(4,563m)

Pos	No	Class	C.P.	Name	Car	Best Time	Lap	Gap	Ave. km/h
1	6			太田 格之進/OHTA KAKUNOSHIN	SRS/コチラレーシング	1'45.259	55 / 56		156.061
2	7			佐藤 蓮/SATO REN	SRS/コチラレーシング	1'45.348	50 / 51	0.089	155.929
3	24			平木 玲次/HIRAKI REIJI	Media DoADVICS影山F110	1'45.492	45 / 45	0.233	155.716
4	36			野中 誠太/NONAKA SEITA	FTRSスカシップF4	1'45.558	55 / 56	0.299	155.619
5	5			三宅 淳詞/MIYAKE ATSUSHI	HFDP/SRS/コチラレーシング	1'45.716	55 / 58	0.457	155.386
6	77			大井 偉史/OHI TAKESHI	WARMTECH SkillSpeed	1'45.829	55 / 57	0.570	155.220
7	37			平良 響/TAIRA HIBIKI	FTRSスカシップF4	1'45.866	52 / 55	0.607	155.166
8	60			菅波 冬悟/SUGANAMI TOGO	OTG DL F110	1'45.881	56 / 56	0.622	155.144
9	62			神崎也/JIN SEIYA	DENSO ルボ-セ JPM F4	1'46.064	53 / 53	0.805	154.876
10	8			小山 美姫/KOYAMA MIKI	#USLETE Honda Racing	1'46.148	55 / 56	0.889	154.754
11	63			川合 孝汰/KAWAAI KOHTA	DENSO ルボ-セ IPG F4	1'46.151	49 / 52	0.892	154.749
12	11			石崎 竜一郎/SHIZAKI RYUICHIROU	Rn-sports 制動屋 F110	1'46.310	49 / 52	1.051	154.518
13	25			堀尾 風允/HORIO FUMA	SAMURAIケ-ターズ F4	1'46.326	51 / 56	1.067	154.495
14	20			木村 偉輔/KIMURA IORI	Silver Star Racing	1'46.342	42 / 42	1.083	154.471
15	80			大竹 将光/OHTAKE MASAMITSU	OTG DL F4CHALLENGE	1'46.533	60 / 63	1.274	154.194
16	16			渡辺 大祐/WATANABE DAISUKE	Media DoADVICS影山F110	1'46.618	55 / 55	1.359	154.072
17	44			小野寺 匠/ONODERA SHO		1'47.005	53 / 53	1.746	153.514
18	31			三枝 拓己/SAIGUSA TAKUMI	RiNoA Racing project	1'47.109	43 / 45	1.850	153.365
19	3	INDP	1	佐藤セルゲイビッチ/SATO SERGEYEVICH	結婚の学校 フィールド モータースポーツ	1'47.178	46 / 49	1.919	153.267
20	9			塩津 佑介/SHIOTSU YUSUKE	ATEAM Buzz Racing	1'47.178	51 / 51	1.919	153.267
21	98	INDP	2	IKARI		1'47.360	23 / 44	2.101	153.007
22	73			境 瞬佑/HANAWA SHUNSUKE	カロ-ラ新城レオンキッズレーシング	1'47.402	43 / 53	2.143	152.947
23	10			植田 正幸/UEDA MASAYUKI	Rn-sports	1'47.781	35 / 36	2.522	152.409
24	0	INDP	3	桜井 孝太郎/SAKURAI KOTARO	ザップスピード	1'47.938	18 / 18	2.679	152.187
25	86	INDP	4	大阪 八郎/OSAKA HACHIRO	COLLET F110	1'49.102	32 / 35	3.843	150.564
26	43	INDP	5	吉田 基良/YOSHIDA MOTOYOSHI	ZAP SPEED F110	1'49.141	30 / 37	3.882	150.510
27	23	INDP	6	YUGO	S2R Racing	1'49.246	51 / 52	3.987	150.365
28	39			岡本 大地/OKAMOTO DAICHI	SUCCESS RACING F4	1'49.905	35 / 55	4.646	149.464
29	34	INDP	7	菊池 博憲/KIKUCHI HIRONORI	RT WORLD	1'49.912	41 / 46	4.653	149.454
28	INDP			齋藤 真紀雄/SAITO MAKIO	CS Marketing ES	DNS			
71	INDP			大山 正芳/OYAMA MASAYOSHI	ダイワN通商/NAGISA AUTO	DNS			

